

brainworx 



OVERDRIVE
SUPREME®



FUCHS

プラグインマニュアル

| Fuchs Overdrive Supreme

Fuchs Overdrive Supreme

Andy Fuchs' Highly Coveted Original Design

SUPREME®

FUCHS®

もくじ

はじめに

アンプ・セクション

トーンスタック

マスター

FX ラック・ダイナミクス

ノイズゲート

アンプ・フィルター

FX ラック・ディレイ

ディレイ・コントロール

3

FX RACK REC チェイン

8

4

REC チェイン

8

4

+/- スイッチ (プラス/マイナス)

8

5

イン/アウト

9

6

インプット・ゲイン

9

6

パワーソーク

9

6

ツールバー

10

7

プラグインセッティング・ツールバー

10

7

ファクトリー・プリセット

10



Developed under license by Brainworx GmbH Germany for Plug-in Alliance LLC USA.

はじめに

Fuchs Overdrive Supreme

はじめに:

Overdrive Supreme は Fuchs amplification の製品ラインナップの中のを至宝であり、独創的でモダンなキャラクターを確立しながら Dumble® のサウンドを実現するために探求されたサウンドがギター界全体に知られています。Brainworx の Fuchs Overdrive Supreme プラグインは、オンボードの FX ラック、ビンテージ Neve コンソール、ハイエンドマイクとアウトボード機材を使用した 82 種類のインパルスレスポンスなどの機能を加え、すぐにレコーディング可能なサウンドを提供します。Universal Audio の Unison テクノロジーは、Apollo インターフェイス上で完璧なラインを使用でき、ODS のインピーダンスを正確にエミュレートしているので、本物のアンプで演奏しているようなフィーリングが得られます。

Unison テクノロジー

Fuchs Overdrive Supreme プラグインは、Apollo シリーズのインターフェイスでを使用することを念頭に開発され、Unison プリアンプテクノロジーに対応しています。もちろん Fuchs ODS は、他の UAD-2 デバイスでも動作しますが、重要な要素であるインピーダンス、リアルなアンプの“スウィートスポット”やサーキットの動作などの超低レイテンシーを体感するには、Apollo インターフェイスが必要です。これを行うには、Apollo の Console アプリケーションのプリアンプ・インサートに Fuchs ODS をインサートする必要があります。これはあなたの経験を大幅に向上させ、サウンドのトーンや動作を物理的なギターアンプのように動作させます。

このプラグインの主な用途は以下の通りです。:

1. DI から接続したギターをレコーディングし、内部のアンプ・シミュレーション、レコーディング・チェーン、FX ラックを使用し、DAW で編集、加工を行う
2. パワーアンプ・シミュレーションとレコーディングチェーンによるハードウェア・プリアンプのレコーディング
3. Apollo の Console を使用してスタジオのスピーカー、ホームステレオ・システム、ヘッドフォンや本物のギター・アンプやキャビネットに接続して最小のレイテンシーで自宅練習が可能
4. リアルなパワーアンプとスピーカー・セットアップを使用してライブでの使用
5. ライブでの使用時、ライブ・コンソールやインイヤー・システムへの直接プラグインが可能
6. 他のアンプ・シミュレーターでレコーディングした完璧なギタートラックをリアンプ

概要 (Fuchs のウェブサイトより)

Overdrive Supreme® はすべての点で優れています。クリスタルのようにクリアで輝くようなクリーンサウンドから、緻密なハーモニクスを持つオーバードライブサウンドまでこのアンプはあらゆる音量でサウンドのクオリティを保ちます。Larry Carlton や Robben Ford のライブサウンドで聴けるようなトーンです!“ Overdrive Supreme®は、正確に Dumble サウンドを再現しています!” (20th Century Guitar)

生産から 10 年目に近づくにつれ、Overdrive Supreme®は国内外の出版物の両方で大きな評価を受けています。Overdrive Supreme は、最近、日本の“Guitar Magazine”、“Guitar Player Magazine”で非常に好評を得ています。Brainworx は、50 ワットの Overdrive Supreme をモデリングしました。

クリーン・チャンネルにはブライツとディープ・スイッチ、そしてロック/ジャズ・スイッチがあり、トーンコントロールの方法が変わります。ロックはよりアグレッシブでパンチのある明るい音色で、ジャズは締まったサウンドでマニャックでありながらバランスの取れたスムーズなサウンドです。パッシブのハイ、ミッドとロー・コントロールも搭載しています。ハイ・コントロールを引っ張るとミッドブーストになり、ミッド・コントロールを引っ張るとゲインブースト(トーンコントロールをバイパス)を行ないます。クリーン・チャンネルは、オーバードライブチャンネルのプリアンプとして機能し、トーンコントロールと EQ スイッチはすべてのブーストを含むオーバードライブ使用時にアクティブになります。

オーバードライブ・チャンネルには、OD インと OD アウト・コントロールがあります。OD インは、オーバードライブのサチュレーションを設定し、OD アウトはグリーンチャンネルとダーティーチャンネルの最終的なバランスを調整します。グローバル・マスターボリュームとアクセントコントロールがあり、アウトプットステージにプレゼンスとエッジを加えます。

オーディオシグナル・パス全体が完全なチューブです。ODS®は低ノイズを実現するために安定化されたハイボルテージ DC 電源を備え、ライン電圧の変動があってもノイズを軽減できるよう調整されたプリアンプ・チューブヒーターを備えています。この技術は、最高級オーディオ機器やチューブのスタジオ機材で使用されており、ギターアンプに使用されることは珍しいケースです。

すべてのチューブは、シャーシーに取り付けられており、電源トランス、アウトプット・トランスも直接シャーシーに取り付けられています。シングルポイント・アースを採用することでアンプは静かになり、すべての動作レベルでハムノイズから開放されます。

アンプ・セクション

Fuchs Overdrive Supreme



トーン・スタック:

GAIN: 連続可変で 1～10 までの設が可能です。ゲイン・コントロールは、プライマリー・クリーンアンプの入インプット・ゲインを設定しますクリーン・チャンネルは(オーバードライブではなく)クリーンで動作中にプリアンプとしてのみ機能します。アンプがオーバードライブ・モードのときは、グリーンチャンネルは、オーバードライブ・ステージに対するプリアンプとして機能します。プライマリー・チャンネルのすべてのコントロールは、オーバードライブ時にも引き続き動作し、オーバードライブ・トーンをコントロールすることができます。

BRITE: オン/オフ・スイッチ。ブライトスイッチは、ゲイン・コントロールに作用し、インプットゲイン・コントロールレンジの約半分でアクティブになります。‘0’ からほぼ中間まではハイをブーストします。そしてスイッチの効果は、ゲインコントロールを中間点以上にすると減少していきます。

DEEP: オン/オフ・スイッチ。アンプ全体の音色を変化させ、低域をわずかに増加させます。これは低域のブーストを必要とする場合があるシングルコイル・ギターに便利です。

TONE: 2 段階切替式: “Rock” and “Jazz.”; Rock/Jazz スイッチは、コントロールの操作を変更します。Rock では、もっともハイゲインでアグレッシブなロックタイプのイコライゼーションを提供します。Jazz では、トーンは、よりニュートラルでスムーズなトーンが得られます。すべてのトーン・コントロールは、両方のモードで機能しますが、そのレンジと操作の深さは変更します。

HIGH: 連続可変で 1～10 まで設定が可能です。ハイ・コントロールには 2 通りの機能があります。:

- ノブが内側の位置で LED がオフ: 高域を調整します。
- ノブが外側の位置で LED がオン: ミッドブーストを行ないます。これによりハイ・コントロールのレンジが下方にシフトし、ミッドレンジに含まれます。すべてのトーン・コントロールは、動作しますが、トーンはより太くなります。
- 注: ノブをダブルクリックするか、LED をクリックしてください。

MID BOOST: オン/オフ・スイッチ。ミッド・ブーストをオンにします。

MID: 連続可変で 1～10 まで設定が可能です。ミッド・コントロールには 2 通りの機能があります。:

- ノブが内側の位置で LED がオフ: 中周波数域を調整します。
- ノブが外側の位置で LED がオン: ゲイン・ブーストを行ないます。これにより、すべてのトーン・コントロールをバイパスし、クリーン・モードとオーバードライブ・モードの両方でより大きなドライブとゲインを可能にします。これは、シングルコイル・ピックアップのサウンドを太くすることができます。
- 注: ノブをダブルクリックするか、LED をクリックしてください。

GAIN BOOST: オン/オフ・スイッチ。ゲイン・ブーストをオンにします。

LOW: 連続可変で 1～10 まで設定が可能です。このコントロールは、低域を調整します。

アンプ・セクション

Fuchs Overdrive Supreme



MASTER:

INPUT: 連続可変で 1～10 まで設定が可能です。上記のようにオーバードライブ・ステージは、クリーン・プリアンプから供給されます。2 つのコントロールがオーバードライブに影響します。必要に応じてこの内部設定を増やすことも可能です。オーバードライブ・インプット(フロントパネル)は、2 つのオーバードライブ・ステージ間でドライブを調整することによってディストーションの量を調整します。オーバードライブ出力は、オーバードライブ・チャンネルのボリュームとグリーンチャンネルの音量のバランスをとるために機能します。これが“正しい”オーバードライブ設定ではありません。希望の音色設定を探すことは、使用しているギターやピックアップ、そしてプレイヤーの好みによって異なります。

OUTPUT: 連続可変で 1～10 まで設定が可能です。オーバードライブ・セクションのボリュームを調整します。

OVERDRIVE MODE (PULL-OD): オン/オフ・スイッチ。オーバードライブ・モードをオンにします。

MASTER: 連続可変で 1～10 まで設定が可能です。マスター・ボリュームは、アンプの全体的なボリュームを調節し、アンプ全体のボリュームのゲイン、インプット&アウトプット・コントロールと連動して動作します。

ACCENT: 連続可変で 1～10 まで設定が可能です。アクセント・コントロールは、パワーアンプ・セクション内で動作し、高域でのネガティブ・フィードバックを軽減します。音符全体の音色にエッジを加えます。バンドやレコーディング・ミックスでカットを必要とする場合に便利です。ノート・フィードバックを行ない、“歌う”ような能力を高めることができます。”

FX ラック・ダイナミクス

Fuchs Overdrive Supreme



NOISE GATE:

‘CLOSED’ LED: この LED が点灯しているときは、ノイズゲートが閉じていることを示します。これは、THRESHOLD 値よりもギターのシグナルが低くなり、ノイズゲートが、RANGE コントロールで調節した値の分、アンプのアウトプット・シグナルを減衰させます。(上図では 15dB)

NOISE GATE ON/OFF: ノイズゲートのオン/オフを切替えます。スイッチが上向き(“ON”)でノイズゲートが有効になります。

THRESHOLD: 連続可変ノブ、-120db ~ 0db。ノイズゲートは、ギターからのシグナルが一定のレベルを下回るとアンプのアウトプット・シグナルを減衰させます。このレベルのことを“スレッシュホールド”と言います。オーバードライブしたアンプのノイズが削減される用にスレッシュホールドを調整しますが、ギターそのもののサウンドに影響が内容に調整してください。

RANGE: 連続可変ノブ、0db ~ 100dB。インプット・シグナルがスレッシュホールドを下回った場合、アンプのアウトプット・レベルを減衰、またはミュートします。その減衰値をコントロールします。最大値ではアウトプットをミュートすることができます。

AMP FILTERS:

(プリ/ポスト切替え)

TIGHT FILTER: 3 段階切り替え式: Pre、Post、Off。
TIGHT フィルターを使用すると、DI ギター・シグナル(PRE)、またはプロセッシングしたアンプのサウンド(POST)、いずれかの低域をカットすることができます。

PRE: ギターのピックアップからのサウンドで低域がもたつく場合、アンプに入力する前にローエンドをフィルタリングすることができます。

POST: アンプ・セッティングで発生したローエンドをカットしたい場合、このスタジオ・クオリティのハイパス・フィルターを使用することができます。

OFF: オフに設定すると TIGHT フィルターはバイパスされます。

TIGHT FREQUENCY: 連続可変ノブ: 30Hz ~ 3kHz
カットする低周波数帯の周波数を設定します。

SMOOTH FILTER: 3 段階切り替え式: Pre、Post、Off。
SMOOTH フィルターを使用すると、DI ギター・シグナル(PRE)、またはプロセッシングしたアンプのサウンド(POST)、いずれかの高域をカットすることができます。

PRE: ギターのピックアップからのヒスやノイズが多く感じる場合、アンプに入力する前にハイエンドをフィルタリングすることができます。

POST: アンプ・セッティングで発生したハイエンドの一部をカットしたい場合、このスタジオ・クオリティのローパス・フィルターを使用することができます。

OFF: オフに設定すると SMOOTH フィルターはバイパスされます。

SMOOTH FREQUENCY: 連続可変ノブ: 3kHz ~ 35kHz
カットする高周波数帯の周波数を設定します。

F X ラック・ディレイ |

Fuchs Overdrive Supreme



Delay

DELAY: オン/オフ・スイッチ。ディレイユニットのオン/オフを切替えます。

DELAY TIME: 連続可変ノブ: 15ms ~ 1000ms。ディレイタイムの調整を行ないます。

DELAY FEEDBACK: 連続可変ノブ: 0% ~ 100%。ディレイのフィードバック量を設定します。

DELAY MIX: 連続可変ノブ: 0% ~ 100%。ドライ信号とディレイのレベルバランスを設定します。

DELAY LOFI: 連続可変ノブ: 0% ~ 100%。ディレイ・シグナルにクリエイティブなディストーションを加えます。

X2: 切り替えボタン。ディレイタイムを2倍にします。注: オートメーションできないカスタム・コントロールです。

/2: 切り替えボタン。ディレイタイムを半分にします。注: オートメーションできないカスタム・コントロールです。

TAP: マウスで TAP ボタンをリズムカルにクリックすることで、ディレイタイムを調整することができます。DAW や BPM ベースのテンポに合わせてプレーしなくても、ディレイのテンポをギターのリフに合わせることができます。注: オートメーションできないカスタム・コントロールです。

TEMPO BAR SUBDIVISION: DAW から受信する実際のテンポを表示します。(4/4 表示をベースに BPM 表示)

FX ラック REC チェイン

Fuchs Overdrive Supreme



REC CHAINS:

シンプルに“REC CHAIN”プルダウンメニューをブラウジングしてスピーカーと完璧なスタジオをセットアップを選択してください！

Brainworx のオーナーDirk Ulrich は、過去 20 年の間に DREAM THEATER、TOTO、MICHAEL JACKSON 等をはじめとする多くのアーティストとプロデュースやレコーディングを行ってきました。ドイツの Brainworx Studio(www.brainworx-studio.de)では、これまでに 9 台しか製作されなかった NEVE VXS 72 コンソールの 1 台と最高級のアウトボード EQ やマイクプリアンプを所有しています。

この素晴らしいセットアップを使用して、Fuchs アンプに使用するためにカスタマイズした膨大な“レコーディング・チェイン”を作成し、それをプラグイン・アンプの設定に使用することができます。完璧なマイキングされた 26 種類のキャビネットと、EQ された 26 種類のギター・キャビネット等を 1 回のマウスクリックで簡単に使用することができます。

多くのアンプ・シミュレーターは、キャビネットとマイクの選択に違和感を与える場合があります。そしてこれらの不完全な設定は EQ や、プロセッシングによってユーザーが補完します。異なるマイク・セットアップのミックス、フェイズの調整、や EQ など…しかし、これらは簡単な調整ではありません。これらを正しく設定するには長年の経験が必要となります。

調整する必要があるのは、トーンやゲインで、アンプのチャンネルとセッティングに最高のサウンドを得られる REC CHAIN を選択しプレーするだけです。それはリコールでき、信頼があり、フレキシブルかつ即座に対応することができます。

レコーディング・チェインにお気に入りが見つけれなかった場合、最後のセッティングとして独自のマイキングをしたキャビネットを使用することができます。(EMPTY PLAY VIA REAL CAB とラベリングされている)このセッティングは、Console に 1 台のチューブ・アンプのみの音を接続します。このサウンドがより良い効果を得る場合もあります。

+/- SWITCHES (PLUS / MINUS):

REC CHAINS テキストボックスのプルダウンメニューを使用するか、“+/-”記号をクリックして REC CHAIN をブラウジングすることができます。

AUTO & BAR selection:

使用する曲に最高にマッチする REC CHAIN を探す場合、マウスで REC CHAIN を選び、いくつかフレーズ弾いた後にまた次の REC CHAIN を探すためにマウスを使うという煩わしい操作をしなくても構いません。

Fuchs ODS プラグインは、オート・モードを提供します。

パターン(1、2 または 4 小節)を選択するとプラグインは DAW のテンポにシンクし、REC CHAIN のオートメーションを使用できるようになります。このようにして演奏を中断することなく、いくつかの REC CHAIN の音を 1、2、4 小節ごとに自動的に切替え、試すことができます。

スピーカーセットアップで聴きながらちょうど良い REC CHAIN が見つかったら、もう一度 AUTO ボタンを押し、オート・モードを停止し、必要な REC CHAIN を選択してトーンやゲインを調整して音作りを進めてください。



イン/アウト・コントロール

INPUT GAIN: C 連続可変: 1 ~ 10。Fuchs プリアンプを強く、または軽くドライブさせたい場合に、お好みに合わせてインプット・ゲインを調整することができます。ビンテージ・ギターのシングルコイル・ピックアップの中には、インプット・ゲインの補正が必要な低レベルのアウトプットの物があります。

ヘビーメタル・スタイルのハムバッカーの場合は反対です。DI シグナルがホットな場合や、Fuchs アンプ・プラグインにインプットする前に他のプラグインを使用している場合は、インプット・シグナルを下げる必要があるかもしれません。

標準的なギターを使用する場合、インプット・ゲインを“0”から始めることを推奨します。

PREAMP BYPASS: オン/オフ・スイッチ。プリアンプ・セクションをバイパスします。

POWER AMP BYPASS: オン/オフ・スイッチ。プリアンプ・セクションをバイパスします。

POWER SOAK: 連続可変: -40dB ~ 0dB。本物のパワーソークは、ギター・パワーアンプのボリュームを減らすために使用します。耳を保護し、近隣に迷惑をかけない音量で、アンプがクリッピングを始めるまでチューブ・アンプをドライブさせて、レコーディングを行うことができます。

クリッピングしたチューブ・パワーアンプは、ギター・アンプのシグナルに歪みや倍音を加え、ほとんどのギタリストが好むサウンドを出力します。パワーソークによってボリュームを抑えられたサウンドは、マスター・ボリュームで同じ音量に調整した場合と、サウンドが異なります。

Fuchs パワーアンプの動作をモデリングしたので、アンプとパワーソークのマスター・ボリュームのセッティングを数通り試すことができます。最初に -10 dB の設定で試されることをお勧めします。

ツールバー

Fuchs Overdrive Supreme



プラグインセッティング・ツールバー:

BYPASS: Fuchs Overdrive Supreme のバイパスをコントロールします。

UNDO/REDO (arrows): Fuchs プラグインで変更したコントロールを、最大 32 ステップでいつでもアンドゥ/リドゥすることができます。セッティングを元に戻したくなった場合はいつでもアンドゥを使用することが可能です。

SETTINGS A / B / C / D: Fuchs アンプ・プラグイン は、すべてのプリセットに保存することができる 4 個の内部セッティング(A/B/C/D)があります。1 プリセットにつき、最高で 4 個のアンプとエフェクト・セッティングのバリエーションを保存することができます。これらの設定は、ほとんどすべての DAW でオートメーション化することができます。この方法によって、ドライナリズムサウンドからディレイがかかったリードサウンドに瞬時に切り替えることができます。

COPY/ PASTE / RESET A: 同じサウンドのバリエーションを作る場合、何度も一から音作りをする必要はありません。セッティング A のバリエーションをディレイ無しにして B に作ると仮定します。

セッティング A を選択し、“COPY”をクリックします。
SETTING B を押して“SETTING B に切替えます。
PASTE”をクリックすると A のセッティングを再現します。
チューブ・ゲインを減らしてください。これで完了です。

A と B を切替えて作成したトーンのさバリエーションを聞くことができます。

FX RACK: スタンダードとズーム・ビューを切替えます。

ABOUT: プラグインの開発に関するインフォメーション

ファクトリー・プリセット:

これらのプリセットは Fuchs アンプ・プラグインを使用してオリジナル・サウンドを作成するためのスタート・ポイントとして使用することも意図しています。

オリジナルのサウンド&プリセットの作成: オリジナル・サウンドを作り始める時に調整するもっとも重要なパラメーターは DRIVE、TONE STACK と REC CHAINS です。

好きなだけ GAIN、または Distortion を調整してください。
多くの REC CHAINS を試し、TONE SECTION を使用せずに、探しているサウンドにできるだけ近いものを選択してください。
TONE SECTION を微調整してアンプの設定を理想に近づけてください。

アンプのセッティングや REC CHAIN によって異なるトーンを提供する膨大な選択肢は、様々な音楽ジャンルにとって素晴らしいサウンドを提供する組み合わせを提供できると確信しています。